# ルーテル学院同窓会

# 

Vol. 18-2021 Mar-

## 新型ウイルス禍のただ中の大学から ご挨拶

ルーテル学院大学 学長 石居基夫

ルーテル学院同窓会会員の皆様、 昨年四月に市川一宏先生から学長職 を引き継ぎました、石居基夫です。よろ しくお願いいたします。バタバタと一年 を過ごし、皆様へご挨拶を申し上げる こともできなかったこと、お許しください。

就任直前の三月から新型ウイルスの問題が始まり、新年度に向けて慌ただしい対応が始まっていきました。施設設備の対策をして、どうしたら三密を避けて授業を行うことができるかと手探りで準備をしましたが、当初考えていた以上に事態は深刻化して、五月になってようやく新年度をスタートさせました。

それでも、大学に学生を集めることは難しく、授業は全て遠隔授業。当初は、六月半ばには通常授業に移行との希望もありましたが、諸々の状況を判断して前期は全て遠隔授業とせざるを得ませんでした

経験のない、また予測のつかない状況でしたが、後期には少しでも学生に大学の教室での学びをしてもらえるように対面と遠隔のハイブリッドで授業を行うことにしました。ルーテルはなんと言っても実習教育を大事にしてきましたが、この状況下で病院や施設にご理解をいただき、ご協力いただけたことはこれまでの長い積み重ねがあってのことと思います。

けれども、やはり対人援助の専門を 学ぶためには、顔と顔を合わせること の重要性を改めて思い、制限ある今 の現実にさまざまな課題があることを考 えさせられています。授業もさることな がら、食堂もなし、施設の利用も限られ、 学園祭も開催できず、サークルのみな らず学生生活そのものが本当に制限さ れたものになったことも大きなことでした。

一年生は大学生としての実感を持つ ことに困難を抱えていますし、四年生 は学びと学生生活のまとめ、また就職 に向けての準備に大きな痛手となったこ とは間違いありません。

それでも、学生会やキャンパスキリスト教センターの礼拝委員会などはzoomやSNSを使って企画を立てて、学生間の交流やイベントを生み出してくれました。

また、一日神学校はルーテルで最も 大きな行事といって良いかと思います が、これもいつものようには開催するこ とができません。

しかし、少しずつ慣れてきたオンラインによってできないかと初の試み。技術的な課題はたくさんあったのですけれど、今まではなかなか距離に阻まれていた「一日神学校」への参加が、日本中どこからでも可能となったことは思わぬ成果となりました。

ご存知の方も多いかと思いますが、 市川一宏先生がご自分のブログで卒業生に呼びかけて「希望ある明日に向かって歩むぞメッセージ」を寄せてもらって、卒業生の方々の「今」が分かち合われ、励ましや慰め、希望が交わされています。これに触れて、私たち教職員も本当に力をいただいてきました。ルーテルの卒業生たちが、使命を持ってそれぞれに働き、また生きていらっしゃ る。この卒業生たちを送り出してきたことを誇りにも思い、また大学の使命をも確認させていただいているのです。

こんな具合で、就任一年目はこのウイルス対策であっという間に過ぎていきました。本当はもっとやるべきことも、やりたいこともあったはず。二年目も、まだまだ感染対策をしながらの大学運営となるでしょう。けれども、この経験をしたことが、ただ痛手で終わっていくのではなく、新しい可能性をたくさんもたらしていることを感じています。

今年は、ルーテルがキリスト教社会福祉コースを開いて45周年の年です。教会のための牧師養成から、社会のために働く人材教育へとミッションを広げた本学の歩みを確かに確認したいと思っています。皆様のお祈りとお支えに感謝します。私も、私たち大学・神学校も、いつでも皆さんを祈り、応援したいと思っています。

どうぞ、よろしくお願いします。そして、 いつでもおいでください。待っています。



# コロナ禍の神学校の一年

#### 日本ルーテル神学校 校長 立山 忠浩

昨年4月から神学校校長の任を預かりました。日本福音ルーテル都南教会と兼務になりますので、従来の校長ほどの働きが出来かねることを案じていましたが、周囲の方々に助けていただきながらここまで歩ませていただいています。同窓会の皆さまにもお世話になりますので、よろしくお願いいたします。

神学校はこの時期(2月)には「神 学校の夕べ」の準備に勤しんでいる 時ですが、今年はそうではありませ ん。開催が中止になったからです。

ひとつは新型コロナウイルスの影響ですが、もうひとつの理由は卒業生がいないからです。しかも来年もいませんので、二年間も続くことはこれまでなかったことです。

まことに残念なことですが、これ が神学校の実情です。ですから今年 は「神学校の夕べ」に代えて、「献 身者を求める祈り」と題して動画配 信を行うことにしました。神学生 4名と現職牧師4名からそれぞれの 「声」を発信していただきます。視 聴をご希望の方は次のURLにアク セスして下さい(https://youtu.be/ hpAcNXHkbzU)。なお、お問い合 わせは神学校までお願いします。

さて、新型コロナウイルスの猛威 の中の神学校の一年間を振り返りま す。例年の学事暦の変更を余儀なく され、中止となったものもあれば、 形を変えて何とか実施したものもあ りました。

Zoomを中心としたオンライン授業が次第に定着して来ましたが、その有効性と限界性の両方が見えて来たように思います。

ここでは有効性について語りま しょう。オンラインは距離を縮める ということです。この言葉に斬新な 響きはありませんが、それを実体験 したことに意味があります。

> 一例です。昨秋「オープン・セミナリー」を開催しました。 献身の思いを抱く若者たちに呼 びかけ、神学校はどんな所で、 何を学んでいるのかをキャンパ スで体験してもらうために一昨 年から始めました。

昨年はオンラインでの開催でした。キャンパスでの体験に優るものはありませんが、「オンラインだから参加できた」という方がいらっしゃいました。

三鷹までは遠い、まとまった 時間を確保できないという方に とってはオンラインが有効だっ たのです。参加者から今年度の 神学校の受験生が複数与えられ たことは感謝でした。

もう一例は今後の可能性で

す。神学校の教師不足は深刻です。 専任教授、非常勤講師の確保が喫緊 の課題です。

牧師数が減少し続けていることが 主因ですが、これまで何とか首都圏 の牧師たちに要請し、他教派の方々 にまで広げて人材の確保に尽力して 来ました。まだ解消には至っていま せん。

オンラインはここでも距離を縮めることに貢献します。「首都圏の牧師に」ということから「全国の牧師にまで」と、視野を広げた人材の登用が可能になるからです。実現には克服すべき課題がありますが、可能性の方に魅力を感じています。

オンラインは神学校から情報を発信する可能性も拓いています。神学校の授業や講座を全国に発信するのです。まだアイデアの段階ですが、神学校の教授・講師の授業を全国どこでも受講できるとなれば、きっと興味を持たれる方々がいらっしゃるに違いありません。

二年前に「神学一般コース」を設けたことも加えなければなりません。牧師養成だけの教育にもうひとつが加わったのです。

この春、2年間の課程を修了した 第一回の卒業生3名を送り出しまし た。神学や聖書に興味を持ち、研鑽 の意欲のある人ならば誰でも応募で きる開かれたコースです。

この設置には「世に開かれた神学校」を目指そうという思いが込められていますし、同窓会の皆さまにも開かれていることを意味しています。興味を抱かれる方々にもご紹介いただければ幸いです。今後とも神学校のためにお祈りいただければ幸いです。



#### 卒業生の皆様にお礼と、あらためてのお願い

#### 後援会副会長 小澤周司

同窓会に集う皆さん、初めまして、 こんにちは。後援会副会長の小澤周 司です。よろしくお願いします。

先ず、長期にわたる新型ウイルス 感染症対策の最前線でそれぞれの働きを担っていただいている卒業生の 皆さん、ありがとうございます。そ して、そのさ中でも母校への暖かい 想いから献金・寄付金をお送り下 さっている皆さん、本当に感謝申し 上げます。

皆さんが母校で学んでいた際にも そうであったように、ルーテル学院 大学・大学院・日本ルーテル神学校 は「一人ひとりを大切にする」教育 理念を守り、キリスト教主義による 少人数での学校運営が行われていま す。もちろん、社会情勢に対応して 「社会福祉学科」「大学院」「臨床心 理学科」「人間福祉心理学科」の開 設等が行われ発展してきました。

小さな神学校から始まり、日本で一番小さな大学として社会に知られるようになった時期もありましたが、社会福祉に取り組んでからもうすぐ50年を迎えようとしており、卒業生はやがて4000名に達しようとしています。

こうした発展を支えているのは、「現場で良い働きをしているルーテルの卒業生こそが、わたしたちの勲章です」と語りながら学生の指導と運営にあたっておられる教職員の方々です。そして、私ども後援会も

「学校のために祈り、人材を送り、 献金をする」活動を通して、皆さん と一緒に歩んできております。全国 のルーテル教会には後援会世話人が 居り、地域ごとに地区世話人会等が 開催され、学校での出来事をお伝え し、交流を深めあっています。こう した活動を通して、毎年2500万円 を目標に献金・寄付金を募っていま す(これらの献金・寄付金は、公益 活動として認められており、所得税 の税額控除を受けることができま す)。後援会組織はルーテル教会を 軸として出来ていますが、後援会員 には信徒だけでなく卒業生、父母、 兄弟姉妹等賛同していただける全て の方々になっていただけます。

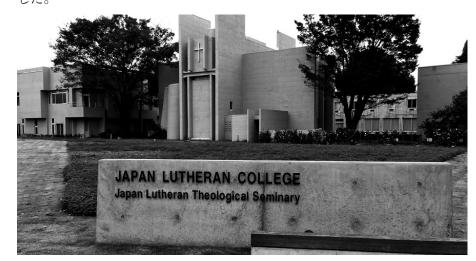
ご承知かと思いますが、これまでにも学校は何度か財政危機等に直面しましたが、支えるもの皆が熱い祈りと心を合わせて募金活動に取り組み、これらの困難を乗り越えてきました。

そして、今また、「コロナ禍」と「経済不安定」の時代に突入し、母校は様々な厳しい状況に直面しつつあります。施設の老朽化への対応はもとより、福祉設備の改善、通信環境の整備、学校図書の充実等々、沢山の課題に対応していく必要があります。

同窓会に集う皆さん、どうか母校 の成長と発展のために力をお貸し下 さい。母校で受けた大切な教育を受 け継ぐとともに、一層の社会貢献に 励んでいただいて、ルーテルの輝き を世に伝えてください。それととも に、どうかお手元に届く「寄付のお 願い」に是非ともご協力をお願いし ます。

ともにルーテル学院大学・大学院・ 日本ルーテル神学校を支える仲間に なってください!

※ 小澤周司氏は、後援会次期会長 に就任予定です。



### 卒業生の皆さまへ 教育の維持・発展のための献金をお願いいたします!

【郵便振込】 口座番号:00140 - 2 - 171183 口座名称:学校法人 ルーテル学院

※ 振込み用紙通信欄に、献金(卒業生)とご記入ください。連絡先(電話番号)もお願いします。

【銀行振込】 三菱 UFJ 銀行 三鷹支店 普通 4126089 口座名称:学校法人 ルーテル学院 ※ ホームページから「寄附申し込みフォーム」をお送り下さい。

※ 手数料は差し引いてください。

※ クレジットカード・コンビニ決済が可能です。ホームページからお手続きください

# 学生時代の思い出をあなたのお手元に!!

#### **―― フォトブック頒布開始!――**

2009 年、同窓会では母校の100周年を記念して母校に保管されていたアルバムなどの写真を基に、フォトブック(写真集) を作成して、毎年のホームカミングパーティや一日神学校、愛祭などで展示しましたが、その際に会員の皆様から、販売の希望があり、今般、同窓会では希望される方々にフォトブックを頒布する事にしました。

頒布するフォトブックは、以下の8冊です。

#### [素晴らしきかな我が学び舎・鷺宮]

(1950年の鷺宮神学校再開から1960年度の卒業式までの10年分の入学式、卒業式の写真とそれらに関する記事など)

#### [素晴らしきかな我が学び舎・大沢-1]

(1969年の大沢キャンパス開校前後から1972年度卒業式までの入学式・卒業式、学生生活の模様)

[素晴らしきかな我が学び舎・大沢-2] (1973年~1976年度卒業式までの入学式・卒業式、学生生活の模様)

[素晴らしきかな我が学び舎・大沢-3] (1977年~1980年度卒業式までの入学式・卒業式、学生生活の模様)

[素晴らしきかな我が学び舎・大沢-4] (1981年~1984年度卒業式までの入学式・卒業式、学生生活の模様)

[素晴らしきかな我が学び舎・大沢-5] (1985 年~1988 年度卒業式までの入学式・卒業式、学生生活の模様)

[素晴らしきかな我が学び舎・大沢-6] (1989 年~1992 年度卒業式までの入学式·卒業式、学生生活の模様)

[素晴らしきかな我が学び舎・大沢-7] (1993 年~1996 年度卒業式までの入学式・卒業式、学生生活の模様) 各 A5 サイズ、72 ページです(扉、奥付含む)。

同窓会ではフォトブックの制作費の半額強を補助して、これらを、 $1 \pm 2,500$  円 (送料込み) で頒布します。お申し込みは、ルーテル学院同窓会のフェイスブックページ [https://www.facebook.com/JLCSAA] にて受け付けます。

現在、ルーテル学院大学に常駐の同窓会事務局がないため、原則としてインターネットでのお申し込みに限らせていただきます。なお、お問い合わせや納期や支払い方法など詳細も「https://www.facebook.com/JLCSAA」に掲載します。





※ [鷺宮] に掲載している写真はすべてモノクロです。他は、モノクロとカラーです。